**業績目録**

**氏名**

この行も含め、説明の青字の箇所と記入例は提出時に削除。主要業績5点に〇を付ける。

**１ 論文業績**　本人氏名に下線を付し、新しいものから記載する。

1. **原著論文**　査読つきで学術雑誌に掲載された論文。欧文・和文で区別する。大学の紀要論文や依頼原稿等は原著論文とはせず、下記の「総説」「その他」とする。

【欧文】

1. Meishi, T. COVID-19 and the workplace: Implications, issues, and insights for psychological intervention. *Journal of Nagoya Psychology*, 10(1): 8-16. 2024. doi:

2. Meishi, T., Taylor, T., & Suzuki, M. Trauma-focused cognitive-behavioral therapy (TF-CBT) for interpersonal trauma in earliest childhood. *Journal of Nagoya Psychology*, 10(1): 8-16. 2024. doi:

3.

【和文】

1.　名市太郎　〇〇〇に関する研究　△△研究　2（6）　102-113　2024　doi:

2.　■■■■・名市太郎　〇〇〇に関する研究　△△研究　60（1）　102-113　2024　doi:

3.

1. **著書**　欧文・和文は区別せず、単著・共著の区別のみで記載する。

【単著】

なし

【共著】

1.　名市太郎　心理療法における見立て　▲▲▲（編）　心理療法の基礎　◎◎社　pp.12-19　2022

2.　Meishi, T. History of clinical psychology in Japan. T. Taylor et al. (ed.), *Clinical Psychology Today*. New York: Routledge, pp. 369-375. 2020.

3.

【翻訳】

1.　 Taylor, T. . *Frontier in Clinical Psychology: Neuroscience and Attachment Theory*. Routledge. 2013. ▲▲▲・名市太郎（訳）臨床心理学のフロンティアーー神経科学とアタッチメント理論　◎◎社　2016

**③総説**

1.　名市太郎　心理療法の効果について　心理療法学　56（1）　102-113　2024　doi:

2.　 ■■■■・名市太郎　〇〇〇〇〇〇　臨床心理　8（1）　45-49　2023　doi:

**④その他**

1.　名市太郎　スーパーヴィジョンをめぐって　名古屋市立大学人間文化研究　（16）　12-19　2021　doi:

2.　■■■■・名市太郎　プレイセラピーのコツ　名古屋市立大学人間文化研究　（15）　8-16　2020　doi:

3.　名市太郎　〇〇が〇〇に及ぼす影響　名古屋市立大学紀要　4　89-96　2016　doi:

**２ 学会発表**　国外・国内に区分のうえ、本人氏名に下線を付し、それぞれについて新しい順に記、主なもの20編まで抽出し記載する、それ以上ある場合は他○編と数だけ記載する。

【国外】

なし

【国内】

1.　名市太郎　〇〇に関する研究　△△学会第27回大会　2022

2.　■■■■・名市太郎　親子並行面接に関するセラピストの意識調査　▲▲学会第12回大会　2020

3.　名市太郎　ASD男児とのプレイセラピー　▲▲学会第11回大会　2019

他〇編

**３ 研究費獲得実績**　公的研究費・その他研究費の区分のうえ、本人氏名に下線を付し、それぞれについて新しい順に記載する。記す金額は直接経費のみとし、研究班で採択された研究費の場合、班全体の金額の後に括弧の中に応募者が受領した金額を記載する。

【公的研究費】

1.　名市太郎（研究代表）　〇〇の効果に関する実証的研究　2022～2026年度　科学研究費補助金（基盤研究C：22K00000）　470万円

2.　〇〇〇〇（研究代表）、◎◎◎◎・◎◎◎◎・名市太郎（研究分担）　〇〇のための支援システムの構築と実装　2020～2024年度　科学研究費補助金（基盤研究B：20K00000）　1430万円（うち、応募者は280万円）

【その他研究費】

なし

**４ 教育実績**　担当授業名（または講義・実習等の実時間数）、ゼミ･研究指導学生数（学士、修士、博士の課程別）、教科書の編修・執筆、優れた教育指導方法の実践、学生の学修促進や就職支援のための取組などを記載する。非常勤講師は、大学名･担当授業名（または講義・実習等の実時間数）を記載する。区分などは適宜加えて記す。

**５ 社会貢献**　学外組織の委員や一般向けの講演、広報物への執筆等、社会貢献活動を記載する。従事内容、従事時期を記載する。区分などは適宜加えて記す。

**６ 大学（学部）運営等**　在籍している（していた）大学・病院等において、学内・院内の委員等、大学・病院運営への貢献について記載する。在籍している（していた）機関が大学・病院以外の場合は、所属機関において、その運営にどのように貢献してきたかを記載する。それぞれ従事内容・従事時期を記載する。区分などは適宜加えて記す。

**７ 特許・その他特記事項**特許については、発明の名称、発明者、特許出願人、出願番号（国際特許出願の場合にはその旨を明記。公開前の場合には出願番号のみでも可。）を記載する。その他特筆すべきことがあれば記載する。

**８ 臨床活動歴**　経験した臨床心理活動（心理療法等）依拠する学派や理論、実践において用いている技法やワークなどを簡潔に記載する。スーパーヴィジョンを行った経験がある場合は、そのことも記載する。区分を設けてもよい

【場所と対象】期間・施設・仕事内容などを簡潔に記載する

2010～2018年　なごや病院　精神神経科　非常勤心理士　成人を中心に個人心理療法と心理アセスメントを担当

2010～2018年　◇◇学園　非常勤心理士　私設入所児童を対象にプレイセラピーを担当。また地域の別施設とのコンサルテーションも行った

2018～現在　◎◎市スクールカウンセラー　非常勤心理士　1つの中学校と、その学区の2つの小学校を担当し、個別心理療法およびコンサルテーションを行った

【オリエンテーションと技法】応募者の心理療法の実践が読み取れるように、心理的援助で十分行っていた/行っているものを記載する

認知行動療法、心理教育、EMDR、TEACCH、自我状態療法

【スーパーヴィジョン】応募者が行ったスーパーヴィジョン経験が読み取れるように記載する

2010年～現在　大学院臨床心理学専攻大学院生　計◎名